

授業科目	情報処理演習						実務家教員担当科目	-	
単位	1	履修	選択	開講年次	1		開講時期	前期	
担当教員	花沢 明俊								
授業概要	情報機器・情報システム・ソフトウェア等についての基礎知識を獲得する。レポート提出やプレゼンテーション発表、あるいはデータ分析など、他の授業での学習や結果のまとめをスムーズに行うために必要となる基本的ソフトウェアの使用方法を学習する。これらは同時に、就職後の業務においても、文書作成、数値の集計・解析、プレゼンテーションなどにおいて必要とされる知識である。さらに本講義では、基礎的な学習を行った後、グループワークによる実践的な課題制作とそのプレゼンテーション発表により、情報機器・情報システムを今後の学業や職業に利用するための実践力を身につける。主な内容は以下の2項目である。 （１）基本ソフトの使用方法 レポート作成やプレゼンテーションで利用する基本ソフト、Microsoft Office Word・Excel・PowerPoint について、基本的使用法方を習得する。 （２）実践的課題制作 Web アンケートなどの情報ツールと Microsoft Office ソフトウェアの連携使用による実践的グループ学習・制作・発表を行う。								
授業形態	対面授業				授業方法	Moodle を利用した課題演習 グループワーク プレゼンテーション			
学生が達成すべき行動目標									
標準的レベル	Microsoft Excel、Word、PowerPoint の基本的な使用方法を体験し、レポート等で必要な場合に、その知識を有効に利用できる。								
理想的レベル	Microsoft Excel、Word、PowerPoint の使用方法を習得し、レポート等で必要な場合に、それらを自在に駆使し、完成度の高い制作を行うことができる。								
評価方法・評価割合									
評価方法			評価割合（数値）				備考		
試験			45						
小テスト			10						
レポート									
発表（口頭、プレゼンテーション）			10						
レポート外の提出物			35				0		
その他									
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング									
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	ナンバリング	-
学習課題（予習・復習）									1回の目安時間（時間）
授業資料を用いた予習 授業課題による復習									1

授業計画	
第1回	テーマ： オリエンテーション 授業内容の概説および授業進行や利用するシステムの説明 Gメールの使い方
第2回	テーマ：Wordの基本・タイピング Wordの基本操作（1）
第3回	テーマ：Wordでの書式設定 Wordの基本操作（2）
第4回	テーマ：Wordでの図表の取り扱い Wordの基本操作（3）
第5回	テーマ：Excelの基本 Excelの基本操作（1）
第6回	テーマ：Excelによる計算・グラフ作成 Excelの基本操作（2）
第7回	テーマ：Excelのデータベース機能 Excelの基本操作（3）
第8回	テーマ：Word・Excelの連携 Word・Excelによる文書作成
第9回	テーマ：中間試験 Word・Excel使用方法について試験を行う
第10回	テーマ：PowerPointの基本 PowerPointの基本操作（1）
第11回	テーマ：PowerPointでの図表・動画の取り扱い PowerPointの基本操作（2）
第12回	テーマ：プレゼンテーション実践（1） PowerPointによるプレゼンテーション制作
第13回	テーマ：プレゼンテーション実践（2） PowerPointによるプレゼンテーション制作
第14回	テーマ：プレゼンテーション実践（3） PowerPointによるプレゼンテーション制作
第15回	テーマ：プレゼンテーション発表会 PowerPointを用いたプレゼンテーションおよび相互評価を行う
テキスト	授業時にオンライン教材を提供する
参考図書・教材／データベース・	小テスト、課題演習、試験はMoodleシステムによって行い、点数・コメント等のフィードバックはMoodleシステム上において行う。 プレゼンテーションの評価は学生同士の相互評価によって行う。

雑誌等の 紹介	
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	キーボードのタイプスピードが遅いと、課題提出等に支障が出る場合があるので、各自タイピング練習サイト等を利用して、タイピング練習を行ってください。 授業以外：授業教材による予習・前回授業の教材による復習→授業時：（１）予習内容および前回授業の復習内容についての小テスト、（２）予習した知識を利用した課題制作・・・という流れで授業を行うため、授業内容の理解には授業教材を利用した予習が特に重要である。
学生への メッセー ジ・コメ ント	